

今年の抱負

医事課



私たち医事課職員は、患者さんへ「親切」「明るく」「スピーディー」に應對し、常にどのような「奉仕」ができるかを考えて行動していきたいと思っております。
どうぞ本年もよろしくお願い致します。

地域連携室



窓口カウンターを設けて早2年が経過しました。
以前に比べ相談件数も増加傾向で、介護保険のことだけでなく他院への紹介や入院など内容も多岐にわたります。幅広いご相談にお答えできるように努めて参ります。

用度課



皆さんに安心して笑顔でいられる施設を目指して日々整備・改善・清掃に努めて参ります。

病院だより

忘年会



昨年12月3日に医療法人 清仁会 忘年会をグランヴィア京都で開催しました。グループ内のスタッフ300名が一堂に会し、日頃の労をねぎらい交流を深めました。スタッフによるフルート演奏もあって終始穏やかな会となり、来年も団結して医療・介護部門共に地域を盛り上げていこうと誓って会を終了することができました。



「島本ミニマラソン」参加しました

昨年12月11日、島本ミニマラソンに水無瀬病院も初参戦してきました。冬の寒さも吹き飛ばすほどの参加者の熱気、青空広がる好天のマラソン日和になりました。

共に走るということで団結力を高め、明日への活力につなげることができました。



編集後記



明けましておめでとうございます。

皆さんの新しい年の抱負は何でしょうか？私は「健康に一年を過ごす」ことです。病院で働いていると、体調が悪くなったら当たり前のようにその都度治療を行うものと思っていました。つい最近、予防医学の本を手にする機会があり、「自分自身の体は自身で守るもの」という言葉に感銘を受けました。そこには「口から入ってくるもの（水・空気・栄養）には気をつける」ともありました。今まで当たり前のように摂取できていたものが当たり前ではない時代になってきています。皆さんも一度、「口から入ってくるもの」を考えてみて下さい。今年一年、地域の皆さんが健康でありますように。



【広報委員会 五島】

発行元：医療法人 清仁会 水無瀬病院 広報委員会
〒618-0012 島本町高浜3丁目2番26号
Tel:075-962-5151(代) Fax:075-961-5840(代)
<http://minasehp.jp/>

医療法人 清仁会 水無瀬病院

- SAKURA - — 広報誌 —

さくら

Contents

- 新年のご挨拶
- ドクターズコラム
- 各部門 今年の抱負
- お知らせ
- 編集後記
- 診療担当医表

私たちは、「安心」の二文字をモットーに、
地域社会の発展と皆様の健康を守るために
よりよい医療・福祉サービスを提供します。

新年のご挨拶



病院長
細谷 和生

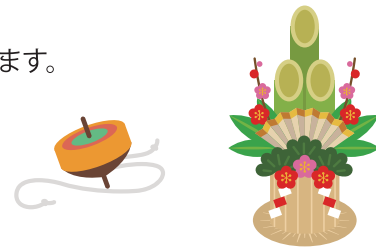
新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、当院に賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。



当院は島本町においての唯一の病院として、地域の方々に寄り添い、皆様一人おひとりに対して心の通った医療の提供を目指してスタッフ一同、日々精進を重ねております。病院の役割としてまだまだ至らぬ点もございますが、お気づきのことがありましたら、お声掛けいただけたら幸いです。医療を取り巻く状況は厳しいですが、今年は更なる「地域に安心を」という当病院の確固たる信念のもと、特色を生かした医療を推し進め、医療・介護の連携を強固なものとし、患者様と共に歩んでいける病院、清仁会であり続けたいと考えております。

この新しい一年が皆様にとって、幸多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



ドクターズコラム



麻酔科
康 憲

みなさん、はじめまして。麻酔科の康です。
平成23年3月から水無瀬病院で勤務しております。
皆さんは麻酔と聞くと、「痛みを緩和してもらうもの」というイメージがあるかと思います。確かにそのような側面もありますが、手術を受けている患者さんの体にかかる負担(これを専門的には侵襲といいます)をできるだけ減らすというのが、麻酔科医の本当の仕事です。私たち麻酔科医は手術の際に患者さんが受ける様々な侵襲から患者さんを守るのが使命であると知っていただけたら幸いです。



手術を受けるとなった際には、麻酔科医にわからないことや不安に思われることを遠慮なく仰ってください。
みなさんが安心して手術に臨めるようにサポートさせていただきます。
本年も変わらぬご支援をどうぞ宜しくお願い致します。



今年の抱負

診療部

当院の医局は常勤医8名(脳外科2名 整形外科2名 内科2名 眼科1名 麻酔科1名)と比較的少数ですが、地域の患者さんを大きな安心で包み込みたいと考えています。新年を迎え、より充実した診療内容の提供に向けて日々努力を重ねて参ります。



リハビリテーション部

西年にちなんで「鶏口となるも牛後となるなかれ」という言葉を抱負とします。
大人数の中で紛れているより小さい集団でもリーダーになる方が良いということです。リハビリ部員が主体的に率先して行動することで地域の皆さんに健康と安心を提供致します。



放射線科

一昨年は一般撮影のワイヤレスタイプデジタルX線撮影装置を導入致しました。従来のX線撮影と比べ「約半分の被曝線量」で、よりきめ細やかな診断画像の作成が可能で、今後も患者さんが安全に検査を受けられるように努めていきたいと思っております。



薬剤科



患者さんが安心して薬を服用して頂けるよう、今まで以上に頑張って参ります。

検査科



患者さんに接する機会も多く、今年はさらに心の通った接遇を心がけ、信頼される検査科になるように目指していきます。また実務面は、検査データを正確かつ迅速に対応して参ります。

栄養科



患者さんの健康増進のため、食生活改善に向けての相談を気軽にさせて頂けるよう努めております。

看護部・病棟部門



平成29年がスタートしました。皆さんはどのようなお正月を迎えられましたか？
高齢社会を迎え、当病院も80代から90代の患者さんが多く入院されています。私たち看護師、看護補助者は個々の患者さんにあつたケアを実施するとともに、医師、リハビリや相談員、時には在宅医と連携を図りながら、住み慣れたご自宅へ退院していただけるよう取り組んでいます。
本年も患者さま、ご家族さまと向き合い、ご自身の力を引き出せる様な看護を実践していきます。その為に、より一層、在宅・外来・病棟の連携をチームで図り、地域の皆さまに安心を提供できる様に努めて参ります。

看護部・外来部門

本年も患者さんに安心してご利用いただける病院を目標に掲げ、お一人おひとりに寄り添った温かい看護を行なって参ります。

診察をお受けになる際、お困りごとがございましたら何でも看護師にご相談ください。スタッフ一同、力を合わせて頑張ります。

